

## 6 「オープンデータ」について

### (1) 「オープンデータ」の認知度

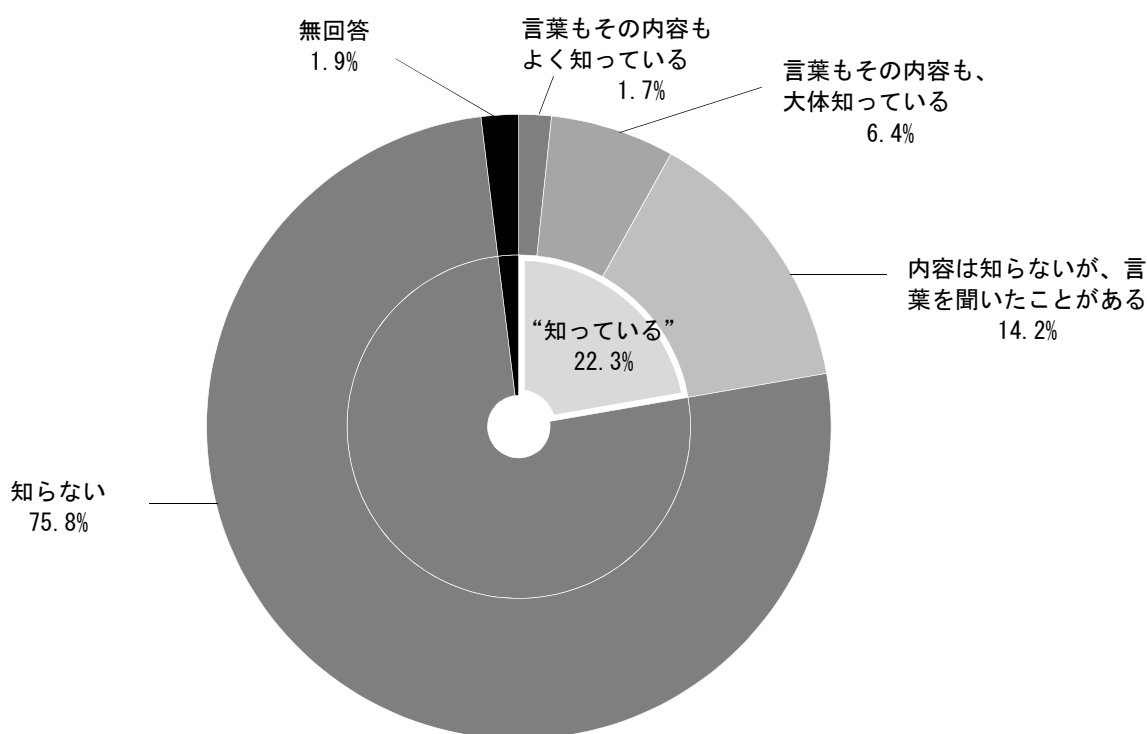
「知らない」が75.8%

国・自治体・企業などが保有するデータを、企業や個人が自由に編集・加工・再配布などができる状態で公開する取組を「オープンデータ」と言います。

近年、インターネットの普及に伴い、簡単に大量のデータを扱えるようになり、国・自治体・企業などが保有するデータを地域課題の解決や、新しいビジネス等に活用することが期待されています。

そのため、国や愛知県でも「オープンデータ」を推進しています。

問29 あなたは、こうした「オープンデータ」について、どの程度知っていますか。【〇は1つ】

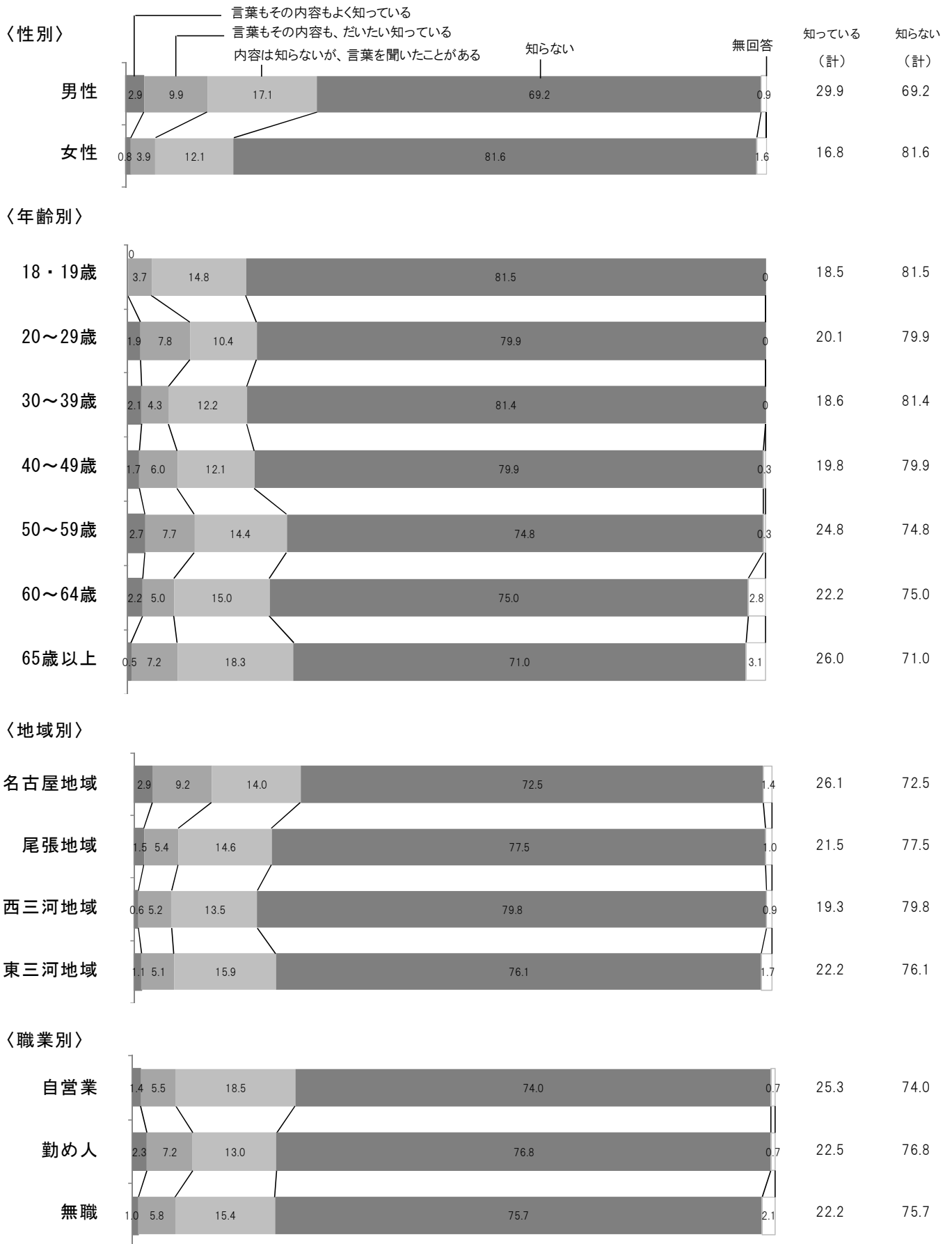


件数=1,603

「オープンデータ」について、「言葉もその内容もよく知っている」(1.7%)と「言葉もその内容も、だいたい知っている」(6.4%)と「内容は知らないが、言葉を聞いたことがある」(14.2%)を合わせた“知っている”と答えた人の割合が22.3%であったのに対し、「知らない」と回答した人の割合は75.8%となっている。

# 「オープンデータ」の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

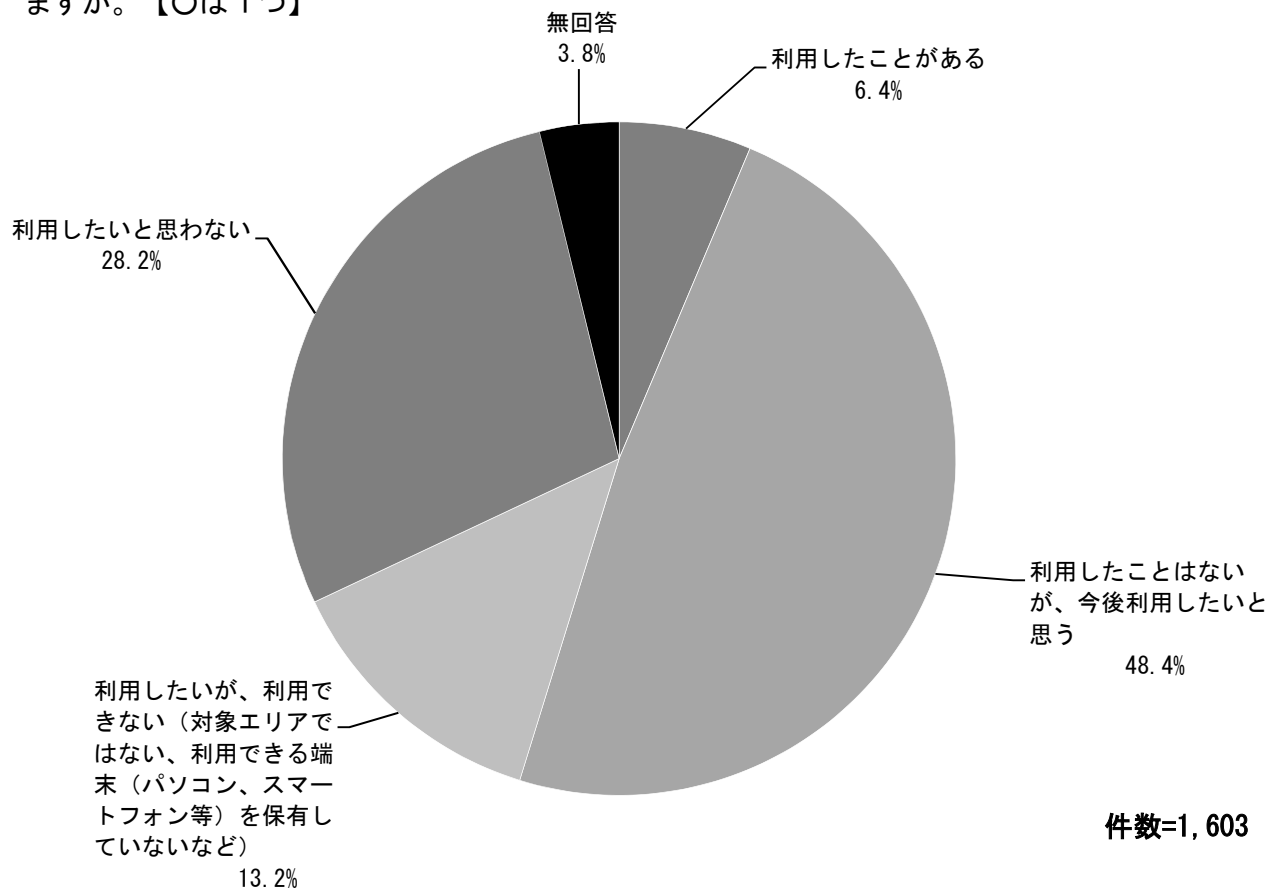


## (2) 生活関連サービスの利用状況

「利用したことはないが、今後利用したいと思う」が48.4%

「オープンデータ」を推進することで、企業や個人などにより住民のニーズに応じたアプリケーション（ウェブアプリやスマートフォンアプリ等）が作成され、生活に役立つことが期待されています。実際に、一部地域では、ゴミ出し案内アプリ、公営バス位置情報アプリ、保育所案内アプリといった生活関連サービスが提供されています。

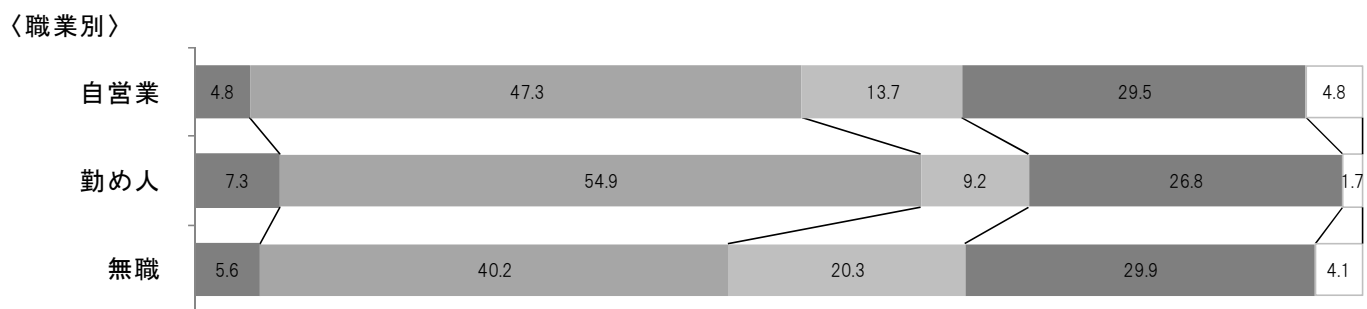
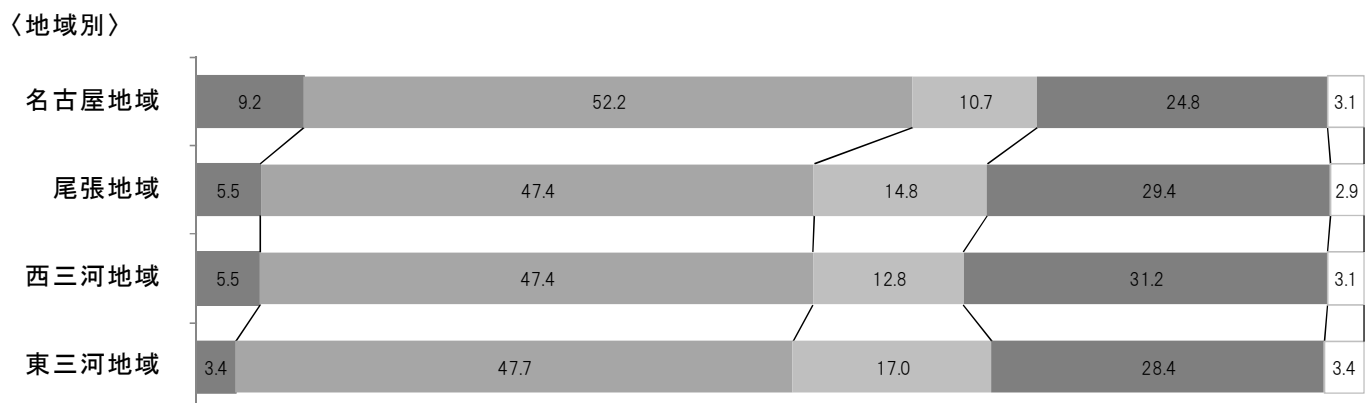
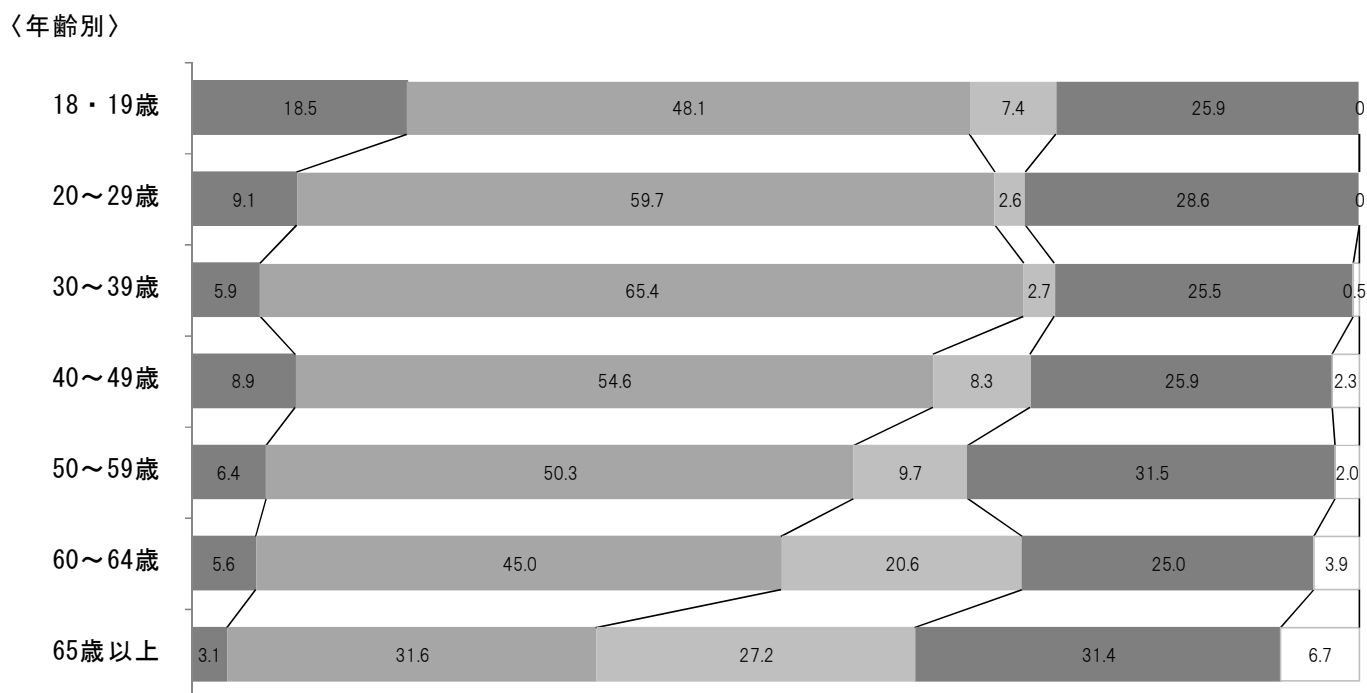
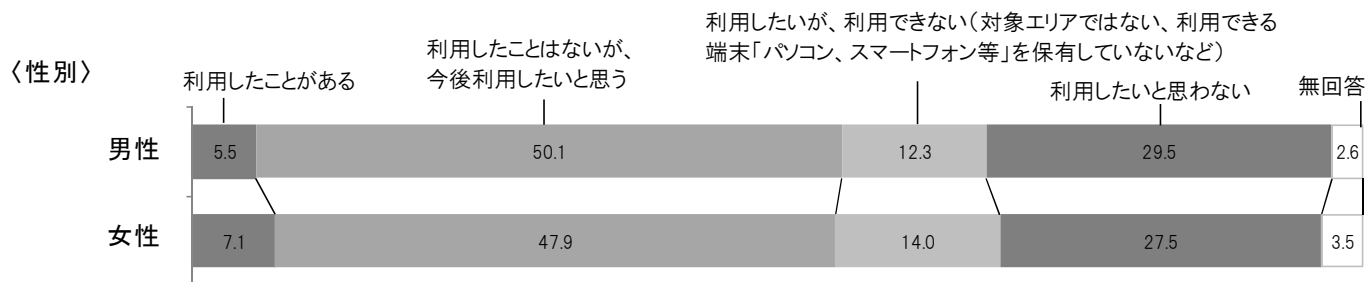
問30 あなたは、こうした生活関連サービスを利用したことがありますか。また、利用したいと思いますか。【〇は1つ】



生活関連サービスについて、「利用したことはないが、今後利用したいと思う」と答えた人の割合が48.4%と最も高く、続いて「利用したいと思わない」（28.2%）、「利用したいが、利用できない（対象エリアではない、利用できる端末（パソコン、スマートフォン等）を保有していないなど）」（13.2%）の順となっている。

# 生活関連サービスの利用状況（性別、年齢別、地域別、職業別）

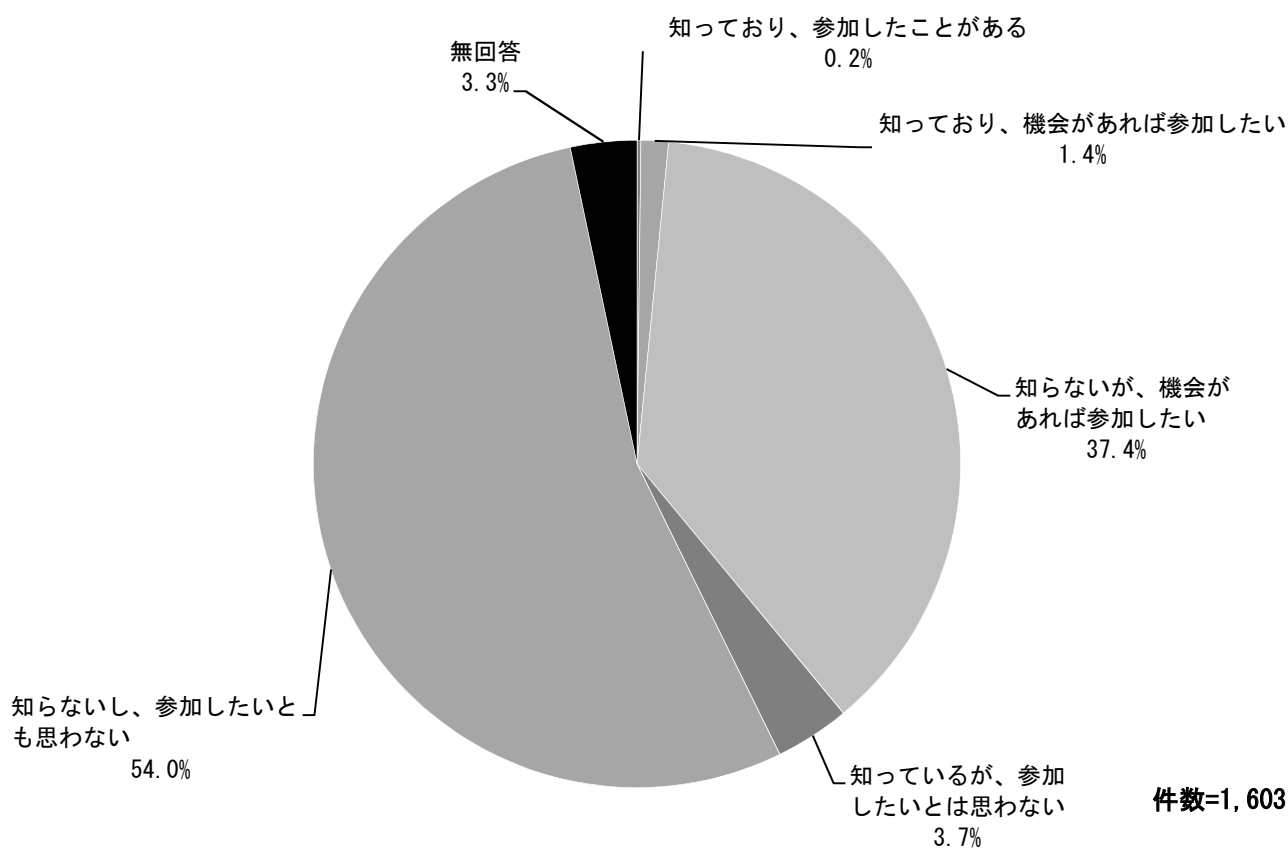
(%)



(3) 「シビックテック」の認知度及び参加希望  
「知らないし、参加したいとも思わない」が54.0%

「オープンデータ」を活用した生活関連サービスは、企業などにより有償・無償で提供されているものもありますが、自分たちの住んでいる社会を少しでも良くするために、住民自身がICT（インターネット等の情報通信技術）を活用して地域の課題を解決する「シビックテック」という市民の活動の中で作成され、提供されているものもあります。

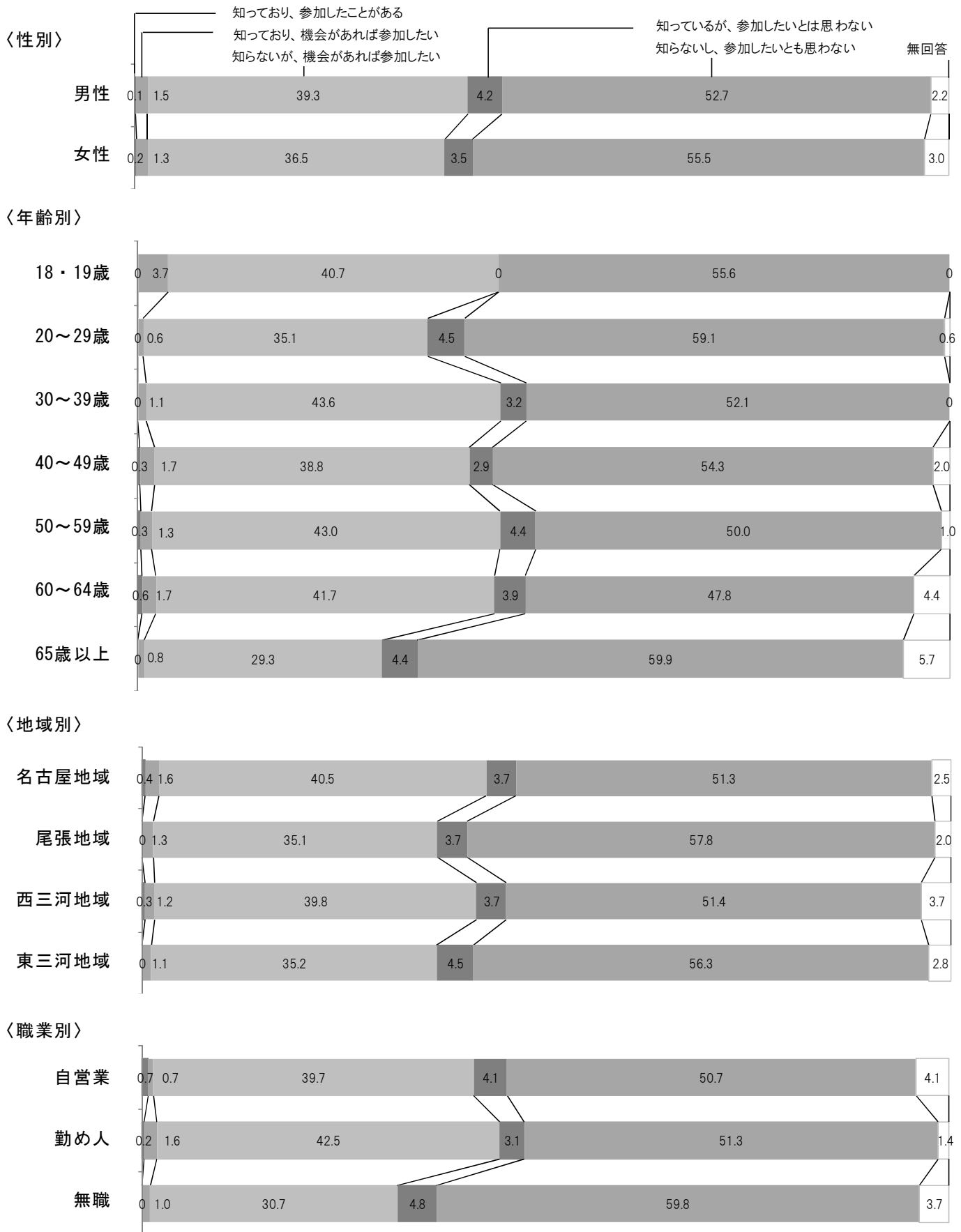
問31 あなたは、こうした「シビックテック」と言われる市民活動を知っていますか。また、参加したいと思いますか。【〇は1つ】



「シビックテック」について、「知らないし、参加したいとも思わない」と答えた人の割合が54.0%と最も高く、続いて「知らないが、機会があれば参加したい」(37.4%)、「知っているが、参加したいとは思わない」(3.7%)の順となっている。

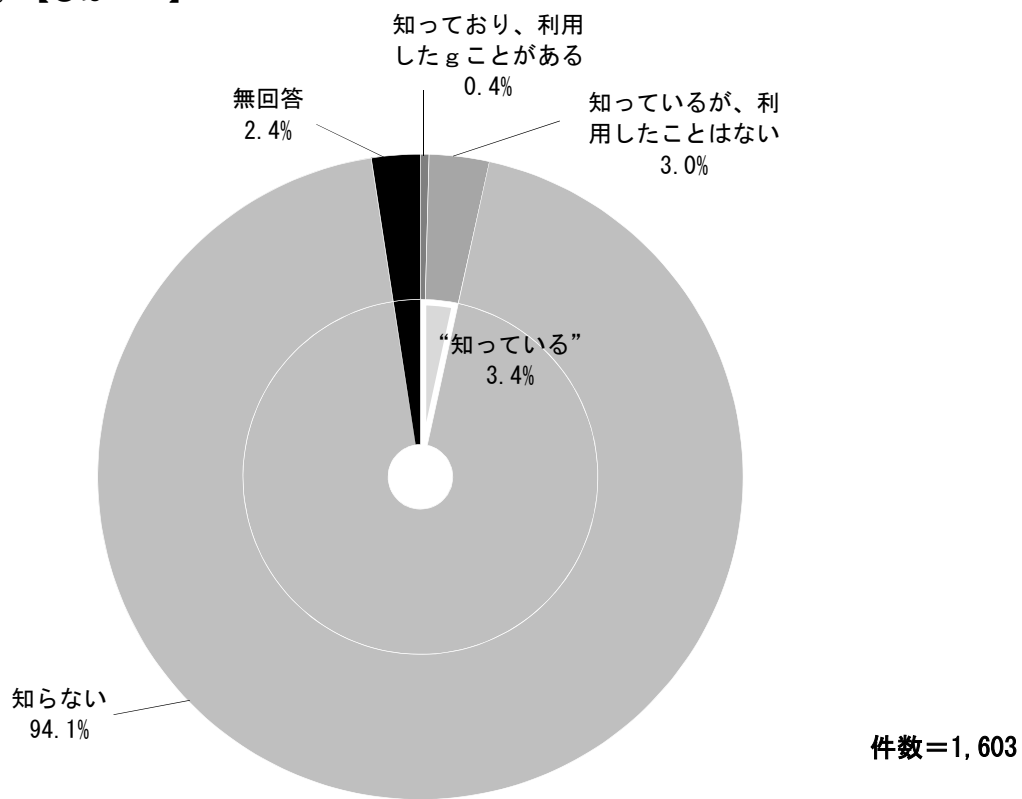
# 「シビックテック」の認知度及び参加希望（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)



(4) 「愛知県オープンデータカタログ」の認知度  
「知らない」が94.1%

問32 あなたは、「愛知県オープンデータカタログ」について知っていますか。また、利用したことがありますか。【〇は1つ】

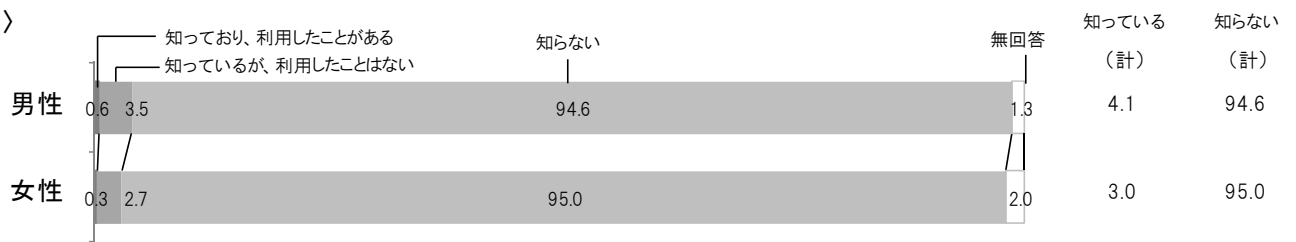


「愛知県オープンデータカタログ」について、「知っており、利用したことがある」(0.4%)と「知っているが、利用したことはない」(3.0%)を合わせた“知っている”と答えた人の割合が3.4%であったのに対し、「知らない」と回答した人の割合は94.1%となっている。

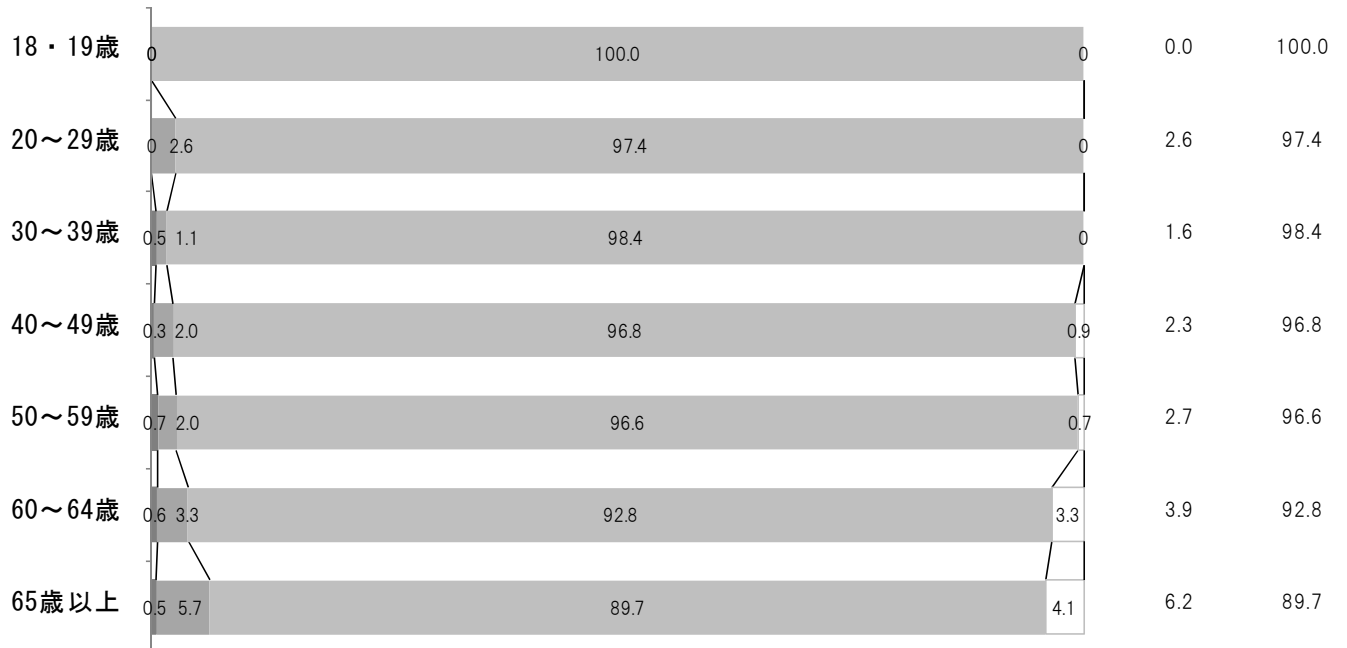
# 「愛知県オープンデータカタログ」の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

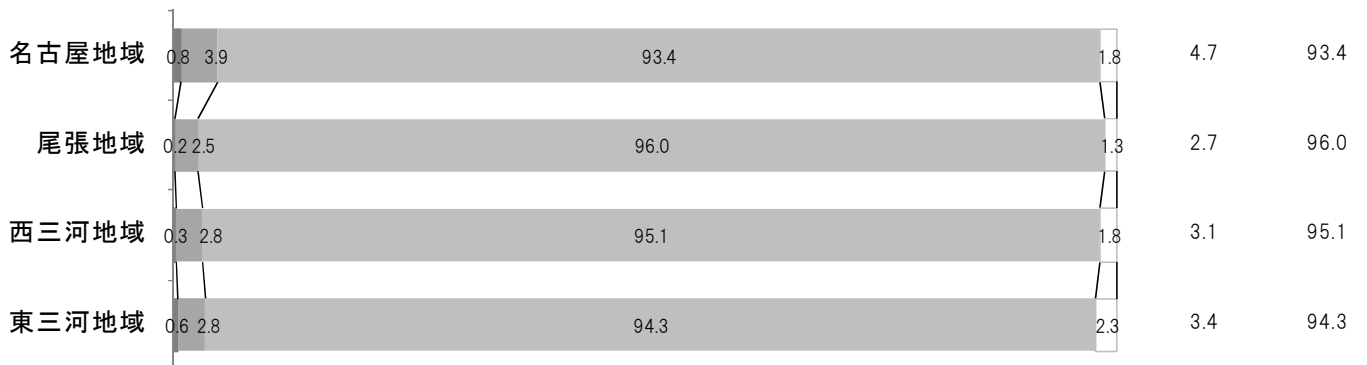
## 〈性別〉



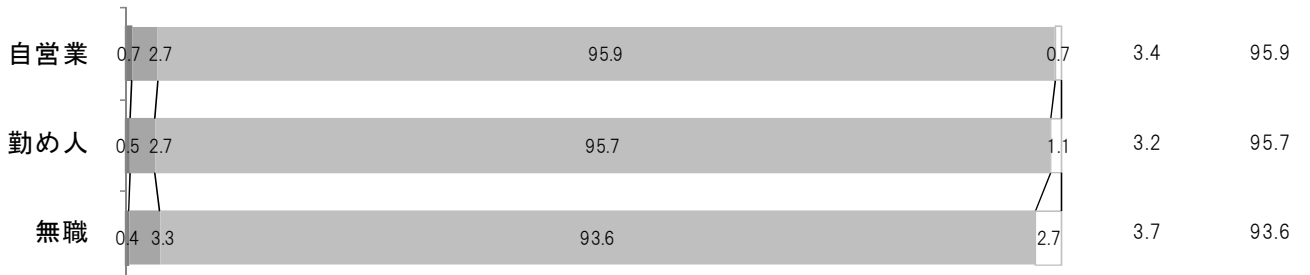
## 〈年齢別〉



## 〈地域別〉



## 〈職業別〉

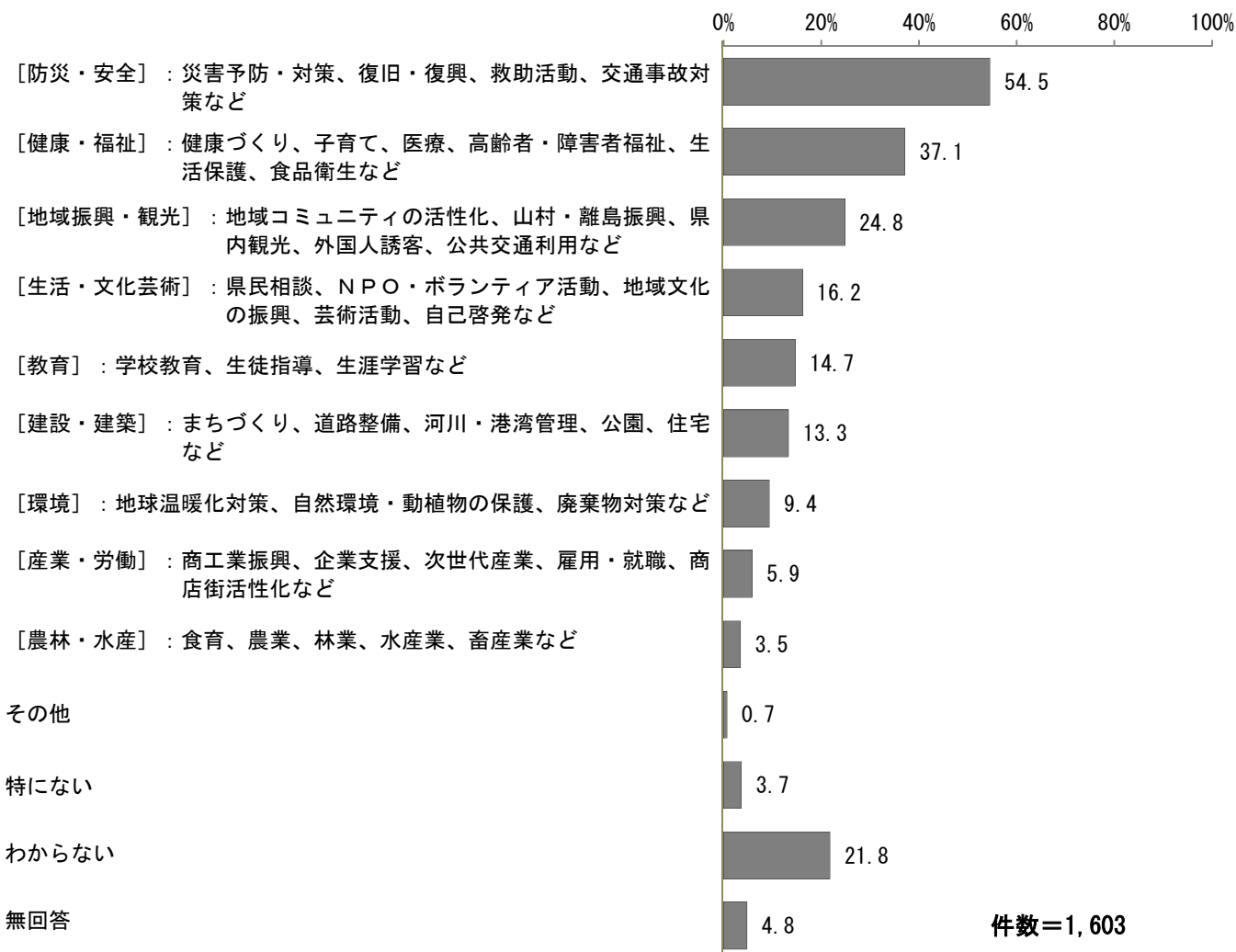




(5) 「オープンデータ」の活用を期待する分野

「[防災・安全]: 災害予防・対策、復旧・復興、救助活動、交通事故対策など」が 54.5%

問33 あなたは、愛知県が「オープンデータ」を推進することで、どのような分野に役立つことを期待しますか。【〇は3つまで】



「オープンデータ」の活用を期待する分野について、「[防災・安全]: 災害予防・対策、復旧・復興、救助活動、交通事故対策など」と答えた人の割合が 54.5%と最も高く、続いて「[健康・福祉]: 健康づくり、子育て、医療、高齢者・障害者福祉、生活保護、食品衛生など」(37.1%)、「[地域振興・観光]: 地域コミュニティの活性化、山村・離島振興、県内観光、外国人誘客、公共交通利用など」(24.8%) の順となっている。

一方で、「わからない」と答えた人の割合は、21.8%となっている。

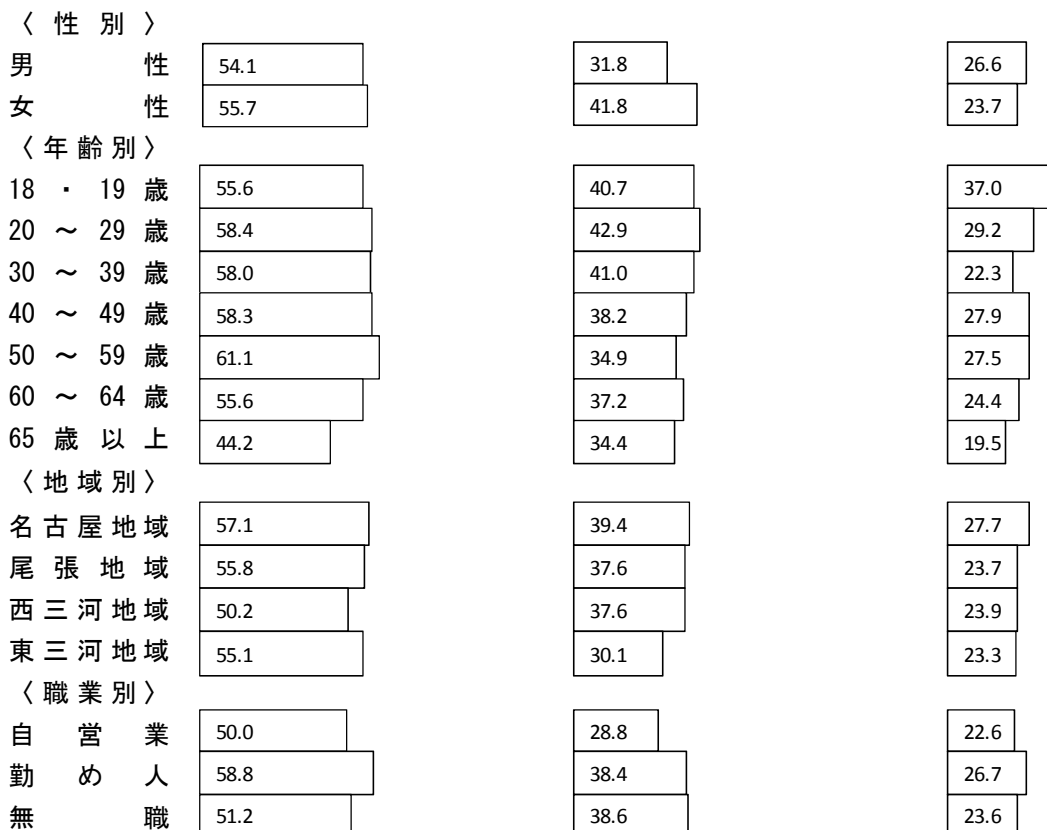
# 「オープンデータ」の活用を期待する分野（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

[防災・安全] : 災害予防・対策、復旧・復興、救助活動、交通事故対策など

[健康・福祉] : 健康づくり、子育て、医療、高齢者・障害者福祉、生活保護、食品衛生など

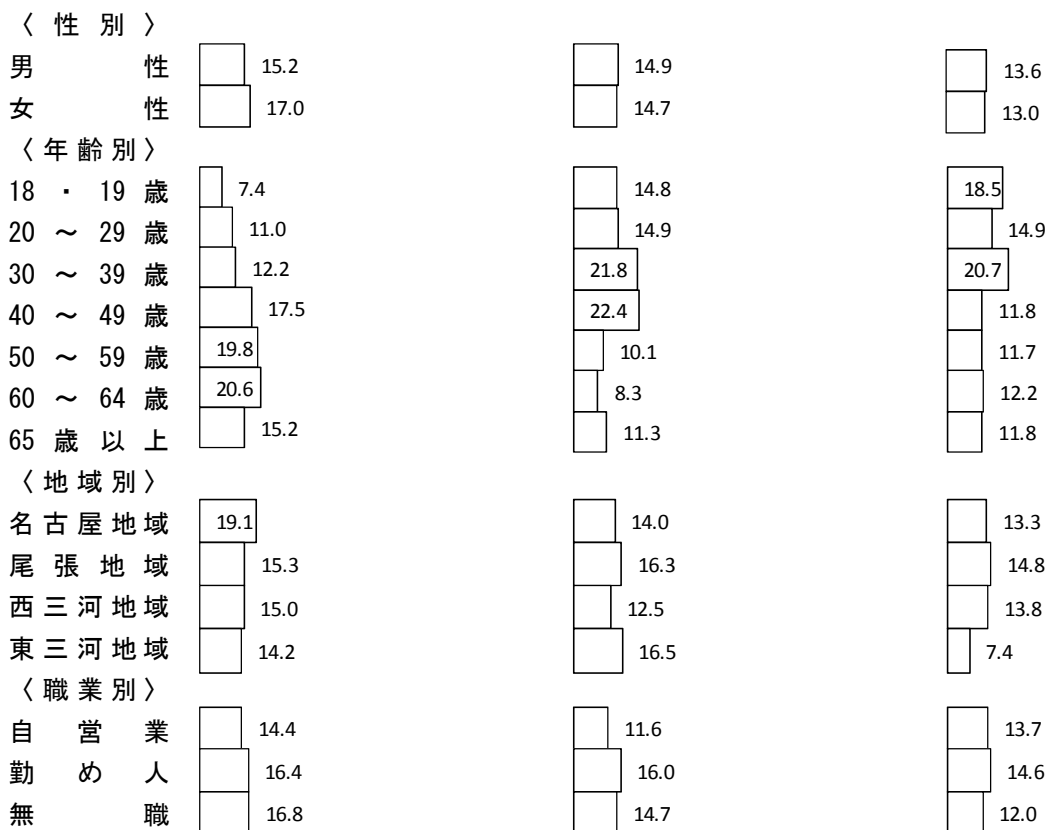
[地域振興・観光] : 地域コミュニティの活性化、山村・離島振興、県内観光、外国人誘客、公共交通利用など



[生活・文化芸術] : 県民相談、NPO・ボランティア活動、地域文化の振興、芸術活動、自己啓発など

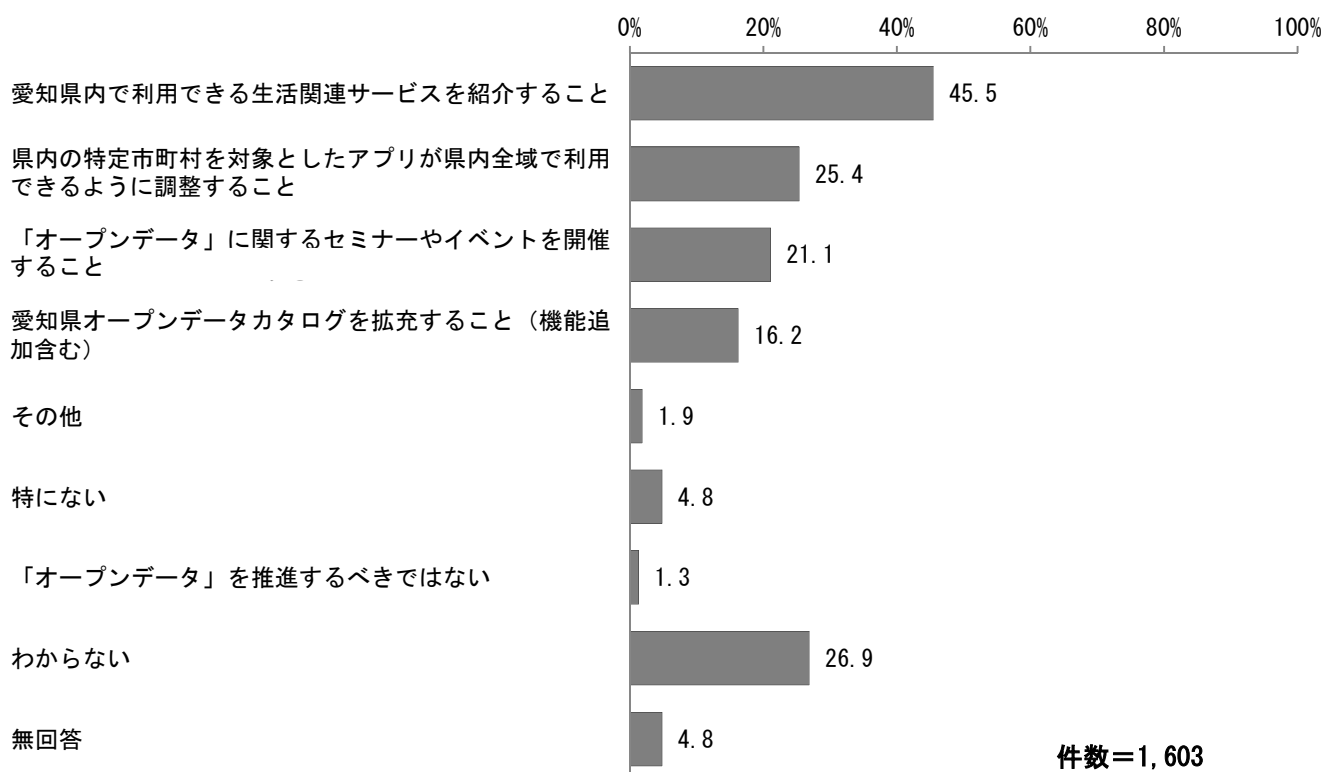
[教育] : 学校教育、生徒指導、生涯学習など

[建設・建築] : まちづくり、道路整備、河川・港湾管理、公園、住宅など



(6) 「オープンデータ」活用促進のために県が実施すべき施策  
**「愛知県内で利用できる生活関連サービスを紹介すること」が45.5%**

問34 あなたは、公開されたデータの活用を促進するために、愛知県はどのようなことを実施すべきだと思いますか。【〇は複数可】



「オープンデータ」活用促進のために県が実施すべき施策について、「愛知県内で利用できる生活関連サービスを紹介すること」と答えた人の割合が45.5%と最も高く、続いて「県内の特定市町村を対象としたアプリが県内全域で利用できるように調整すること」(25.4%)、「オープンデータに関するセミナーやイベントを開催すること」(21.1%)の順となっている。

一方で、「わからない」と答えた人の割合は、26.9%となっている。

# 「オープンデータ」活用促進のために県が実施すべき施策（性別、年齢別、地域別、職業別）

(%)

	愛知県内で利用できる生活関連サービスを紹介すること	県内の特定市町村を対象としたアプリが県内全域で利用できるように調整すること	「オープンデータ」に関するセミナーやイベントを開催すること
〈性別〉			
男性	42.4	25.5	22.4
女性	48.4	25.5	20.4
〈年齢別〉			
18・19歳	55.6	33.3	22.2
20～29歳	43.5	29.9	23.4
30～39歳	47.9	32.4	21.3
40～49歳	49.4	29.6	24.7
50～59歳	50.3	26.2	20.5
60～64歳	47.2	21.1	21.1
65歳以上	37.5	18.3	18.0
〈地域別〉			
名古屋地域	48.0	24.2	20.9
尾張地域	46.6	26.9	21.0
西三河地域	44.3	27.5	22.3
東三河地域	39.8	21.6	21.0
〈職業別〉			
自営業	43.2	26.0	17.1
勤め人	47.9	28.3	23.1
無職	44.4	22.0	20.8

	愛知県オープンデータカタログを拡充すること（機能追加含む）	わからない
〈性別〉		
男性	18.3	25.1
女性	14.7	28.5
〈年齢別〉		
18・19歳	11.1	18.5
20～29歳	18.2	24.7
30～39歳	15.4	21.8
40～49歳	16.7	23.0
50～59歳	17.8	27.5
60～64歳	16.7	27.8
65歳以上	14.7	34.2
〈地域別〉		
名古屋地域	17.7	24.4
尾張地域	16.5	25.0
西三河地域	15.3	32.7
東三河地域	13.6	30.1
〈職業別〉		
自営業	13.7	28.8
勤め人	18.7	24.2
無職	13.7	30.3